

# 業務分解による働き方の創出 ～ プチ勤務のお勧め ～

2016年9月23日  
株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター  
センター長 宇佐川 邦子

※本資料は、講演資料の一部を抜粋・編集したものです。

---

## I. はじめに

- リクルートグループ  
ジョブスリサーチセンター のご紹介

## II. 国内における労働人口問題

- 減少する国内労働力人口  
2000年→2020年で、65歳以上が6.5%上昇に対し、  
労働力人口は、60歳以上で31.1%上昇
- 失業率と有効求人倍率
  - ・完全失業率は過去最低
  - ・有効求人倍率は22年間で最高水準
  - ・都道府県有効求人倍率は、全て1倍超
  - ・地域差なく拡大⇒働いてくれる人は誰なのか？

## III. 企業における人材活用

- 従業員採用時の問題と原因
  - ・従業員の募集時には、ターゲットを理解しニーズに合う条件を出すことが大切⇒主婦・シニア層が仕事につけない理由は？
- 解決のポイント
  - ・業務の細分化と役割を再定義
  - ・求職ニーズにあった業務を創出する

## IV. 新しい働き方

- 「プチ勤務」という新しい働き方
  - ・企業がシフト・業務の細分化をして労働力を確保
  - ・主婦やシニアによる「プチ勤務」超短時間勤務 が増加⇒その効果は？

## V. プチ勤務導入事例

- 事例① 食品加工工場  
フルタイム勤務から、短時間シフト制を導入
- 事例② 青果物卸会社  
フルタイムでスタッフ全て同じ作業から、  
短時間シフト制かつ作業と重作業を切り分け募集

## VI. 業務細分化のポイント

- 業務細分化の流れとポイント
- プチ勤務のまとめ

## VII. ターゲットにあわせた広告の作り方

- 良い求人広告の基準
  - ・明確なターゲット設定×丁寧な情報提供
  - ・ターゲットに知りたい情報が具体的に記載する
  - ・この仕事にしかない「魅力」とその根拠が記載されている

働いてくれる人は誰？

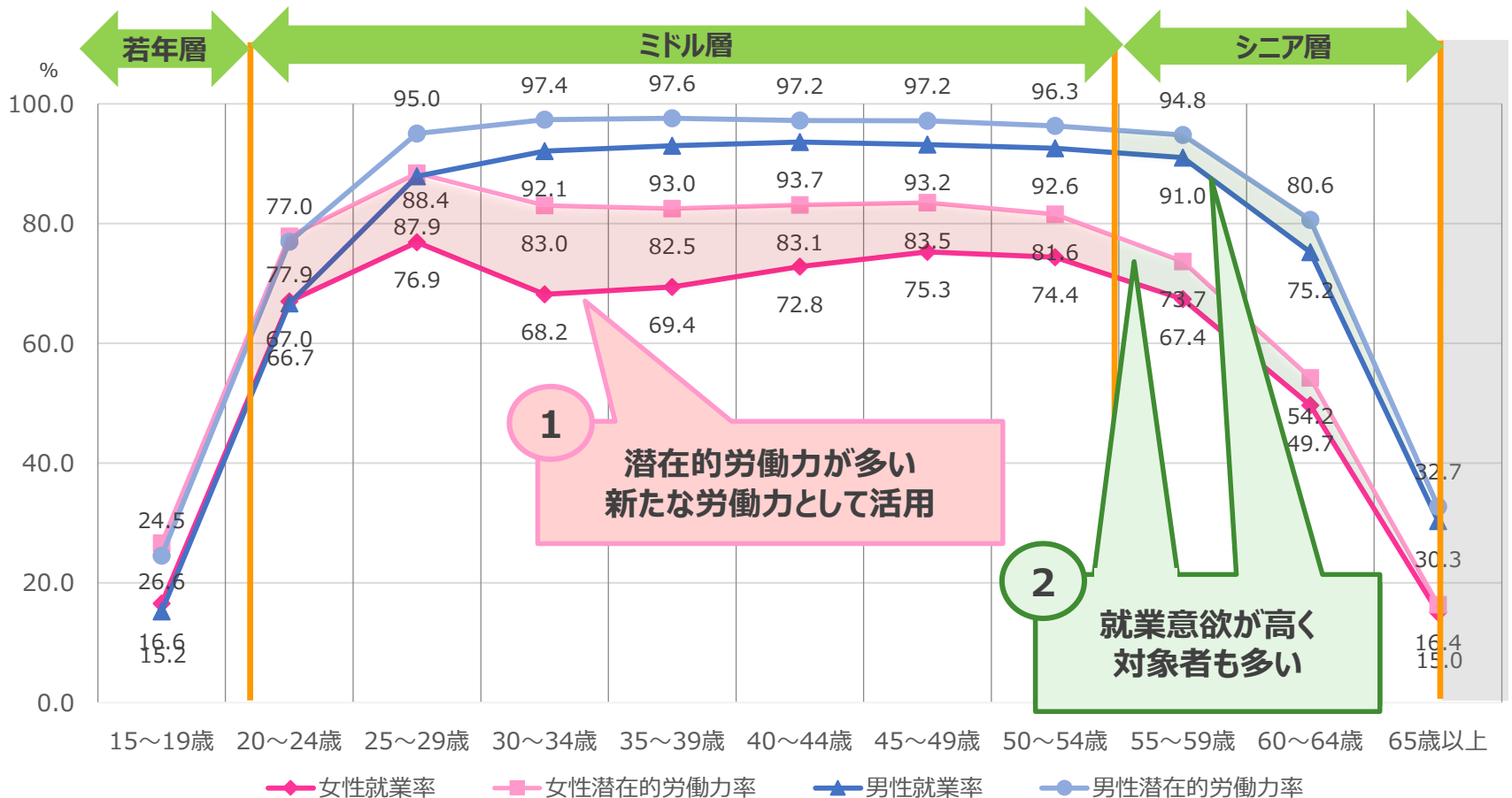
働きたい（働ける）けど、  
働けていない人はどこに？

# Ⅱ-5. 就業率と潜在的労働力

就業率と潜在的労働力の差が大きいのは、女性ミドル層  
今後拡大が予測されるのはシニア層である



就業率と潜在的労働力率（性・年齢別）



※潜在的労働力率=(就業者+完全失業者+就業希望者)/人口(15歳以上)  
※岩手県・宮城県・福島県を除く全国

潜在的労働者の求職ニーズにあった業務を創出。「時間・休日」「仕事内容」  
業務を洗い出し、型化できる、難度の低い業務を切り出す



### 業務の細分化

従業員募集時の問題と原因

**原因**

労働条件がマッチしていない

**業務の細分化と  
役割を再定義**

業務細分化方法

業務棚卸

業務細分化検討

ニーズ  
フィッティング

求職者ニーズにマッチした内容で募集

# まとめ

## 日本全体の 人手不足

### ①国内における労働力人口問題

少子高齢化  
労働力不足

### ②岩手県における現状課題

低失業率  
低就業率

潜在層の活性化

## 就業希望者が 働けない理由

### ③就業希望者の意識

希望職種の募集が少ない

求人者の年齢制限

通勤・勤務時間があわない

休日・休暇があわない

希望条件を満たす  
仕事が見つからない

## 解決方法

### ④潜在層の活用

ニーズにマッチした  
内容の求人を作成

# プチ勤務

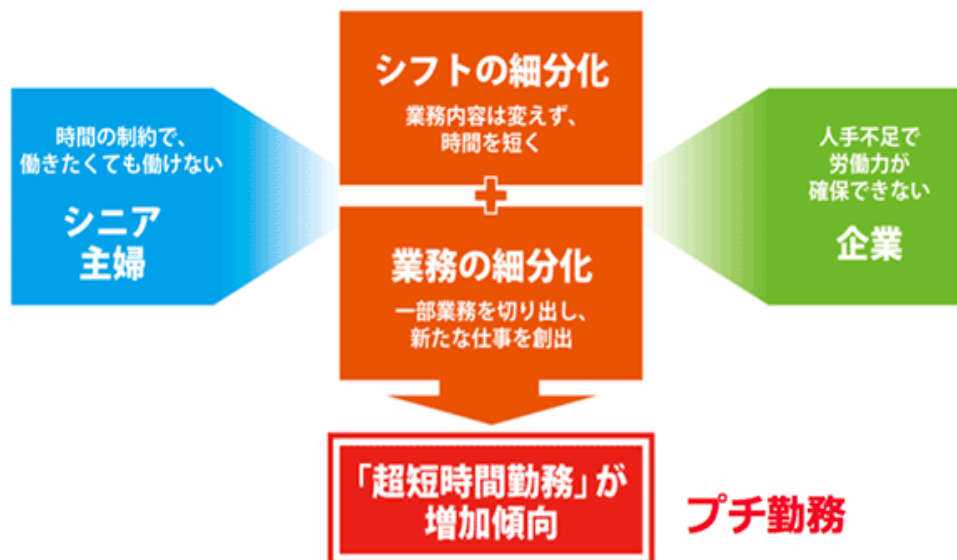
企業が業務の細分化を進めることで、  
主婦やシニアが時間の制約を受けずに、働くことができる  
「超短時間勤務」が増加中



## 「プチ勤務」という新しい働き方

- ・人手不足が続いている現状  
⇒いままでのやり方、条件、  
ターゲットでは採用が困難
- ・シフトに加え、業務の細分化  
⇒時間の制約を受けない！  
新たに「超短時間勤務  
(=プチ勤務)」が誕生

労働力確保のためシフトの細分化に加え  
業務の細分化を行い、  
「超短時間勤務」を生み出すという兆しが出てきている





### 「プチ勤務」の効果

新たな人材採用だけでなく  
既存従業員の満足度向上、定着促進に有効

Q. 業務を細分化できそうですか？  
新しい仕事の創出はできそうですか？



### 採用ターゲット

働きたい（働ける）が、  
働いていない潜在層

主婦・シニア層

### 働く上でのポイント

勤務地×勤務時間(休日)

職場環境

仕事内容

家庭との両立

自分のバランス  
(体力、趣味や余暇)

職場の雰囲気  
(安心して働ける)

人間関係

出来そうな仕事

### プチ勤務 創出のポイント

週15～20時間程度で  
切り出せる業務は？

①フル勤務者の仕事を  
2分割、3分割・・・

②フル勤務者の仕事を  
一部切り出し、  
短時間勤務で対応

効果

新たな人材確保 & 既存従業員の満足度・定着UP

# Q.業務を細分化できそうですか？ 新しい仕事の創出はできそうですか？

### Point!

誰の仕事をまずは軽減すべきでしょうか？  
疲弊している人はいませんか？  
どのような仕事をしている人が最も疲れてますか？  
疲れて辞めてしまうと、、、とっても困りませんか？

助けてあげたい人、長時間勤務になっている人の仕事を

①2分割、3分割できませんか？

「一人が残業して10時間or2人×5時間？3人×4時間？」

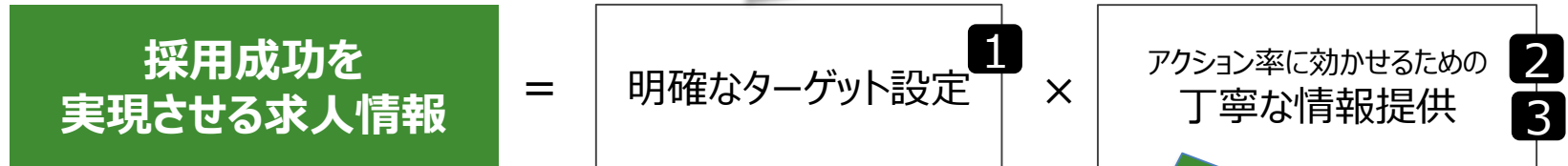
②その方でなくてもできる仕事は切り出せませんか？

「その方でないとできない仕事に集中＋補助してくれる方」

人手不足は、既存従業員が勤務時間を延長して対応することが多く、過重労働になり、結果、健康被害や離職につながるなど悪循環になるケースも・・・  
プチ勤務を考えるきっかけは、「今いる従業員の過重負荷を下げたい」という思いの企業も多い



## 採用成功を実現させる求人情報



### ■ 良い求人情報の基準とは

- 1 ターゲットを明確にしている**
  - 情報を見ただけで、「どんな人」をターゲットとしているのかがわかる（ターゲットの志向を1つ設定）
- 2 ターゲットに対するメッセージが記載されている**
  - ターゲットの「知りたい情報」が記載されている
- 3 リアリティのある内容にする**
  - 「仕事の魅力」が具体的に記載されている
  - どんな仕事なのか？ 職場の雰囲気はどうか？ など求職者がイメージできる内容を記載する